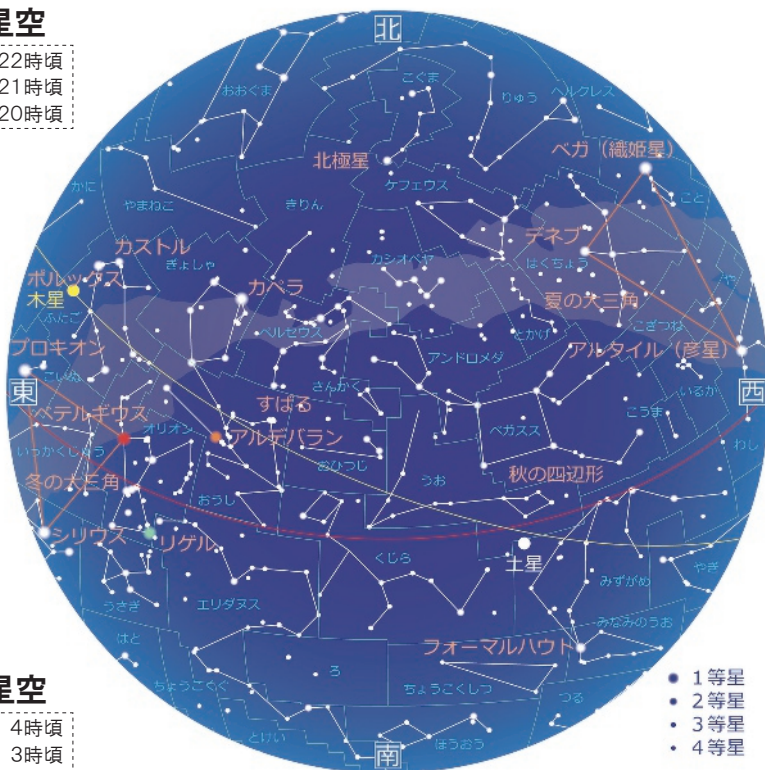


星空ガイド 11月16日～12月15日

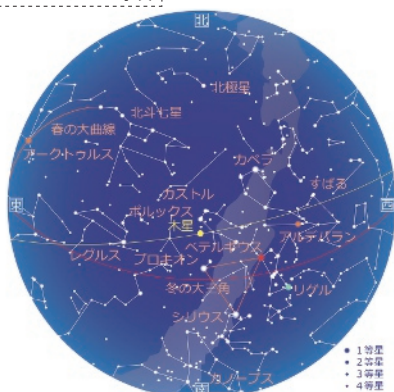
よいの星空

11月16日22時頃
12月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

11月16日 4時頃
12月1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
11	16	日	6:32	16:52	2:40	14:31	25.6
	21	金	6:37	16:50	7:31	17:04	0.8
	26	水	6:42	16:48	11:26	21:45	5.8
12	1	月	6:46	16:47	13:50	2:03	10.8
	6	土	6:50	16:47	17:52	8:15	15.8
	11	木	6:54	16:47	23:34	11:46	20.8
	15	月	6:57	16:48	2:28	13:24	24.8

※惑星は2025年12月1日の位置です。

ふたご座流星群

今年も、ふたご座流星群の時期がやってきました。今年は月の影響が少なく、昨年のふたご座流星群や今年のペルセウス座流星群と比べて、多くの流星を見ることができそうです。今年2025年のふたご座流星群の極大は、12月14日(日)14時頃と予想されています。ですので、14日の夜から15日の未明にかけて、特に多くの流星を見ることができるで



しょう。ふたご座が天頂付近まで昇ってくる1時～2時ごろには、空の暗い所で見ると1時間に50個程度、街中でも10個程度の流星が期待されます。

2時半ごろには東の空に半月よりやや欠けた月が昇ってきますが、街明かりのある場所から流星を見る場合は、月明かりの影響を気にする必要はありません。また、望遠鏡や双眼鏡も必要ありませんので、肉眼で広く見渡すようにしましょう。流星は、ふたご座の辺りだけでなく空のどの場所にも見えるので、ふたご座の方向にこだわらず、まぶしい街灯や月などのない方向の空を見上げると良いでしょう。12月は寒い季節なので夜遅くまでの活動は難しいですし、高地へ行きますと凍結や降雪などの恐れもあります。観察する場合には十分に暖かい恰好をして、無理をせずご自宅付近から見ることをお勧めします。

ちなみに、流星は宇宙空間を漂うチリが大気に衝突して発光する現象です。流星群にはチリを放出する母天体があり、その多くは彗星と考えられています。しかし、ふたご座流星群は他の流星群とは異なり、母天体は小惑星フェートンです。彗星は主成分が氷で太陽に近づくと蒸発してチリを放出しますが、小惑星はそうではありません。フェートンの主成分は岩石であり、太陽に最も近づいたとき、その表面温度が700℃にも達することで、表面が熱分解されてチリが放出されるという説があります。今回の流星群は他の流星群とは違う起源を持っていると思いながら、流星を見てみるのも良いかもしれません。

三田村 耕平(科学館学芸スタッフ)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
11	18	火	明方にしし座流星群が極大
	20	木	●新月(16時) 月が今年最遠(12時・406695km) 水星が内合
	21	金	天王星が衝
	22	土	小雪(太陽黄経240°)
	23	日	水星が近日点通過
	25	火	明方の低空に水星と金星が接近
	28	金	●上弦(16時)

月	日	曜	主な天文現象など
12	4	木	月が今月最近(20時・357108km)
	5	金	○満月(8時)
	7	日	大雪(太陽黄経255°) 月と木星がならぶ
	8	月	水星が西方最大離角
	10	水	明方に月とレグルスがならぶ
	12	金	●下弦(6時)
	14	日	ふたご座流星群が極大(14時)